

クラシノソコアゲ応援団街頭行動 第23弾 (9/6)

**高度プロフェッショナル制度導入は国民の共感も納得もない中で強行に採決
長時間労働規制や非正規労働者の待遇改善の実効性を担保する法整備が重要
～西日本豪雨災害支援カンパの呼びかけに、16,679円が寄せられた～**



応援団長として挨拶する
今野泰連合福島会長

連合福島の「クラシノソコアゲ応援団街頭行動」第23弾は9月6日(木)に、福島駅東・西口2カ所において展開し、市民の皆さんに応援団としての取り組みを訴えた。

冒頭、街頭行動の応援団長である連合福島今野泰会長は、西日本集中豪雨災害、台風21号被害が冷めやらない中で6日早朝に発生した北海道胆振地方を震源とする地震の被災者へお見舞いを述べた。加えて、東日本大震災の際、福島県民は連合のボランティアから多くの元気を頂いており、その恩に報いるために街頭から災害カンパを呼びかけ、16,679円の心温まる浄財が寄せられた。連合福島は引き続き支援カンパの取り組みを行い、本部を通じて被災地に届ける。

引き続き今野会長は「日本は非正規労働者が増え続け、2,000万人を超えている。その内人手不足を背景に一定の格差是正はなされたと言われているが、非自発的非正規労働者は130万人を数え、年収122万円とされる貧困ライン以下で働く方は労働者の15.6%、つまり6人に1人が貧困と言われているのが現状である。今年の春闘では格差是正に向けて同一労働同一賃金を掲げ取り組み、一定程度の成果に結びついた。しかし、一方では非正規労働者の心身症悪化が顕在化していると言うショッキングな研究結果も示されている。急激な少子高齢・人口減少社会を迎えている中、生産年齢人口の減少と経済成長の持続性、そして増加する社会保障費抑制等の解決策は働き方改革の意味合いとして大変重要だ。先の通常国会では、女性や高齢者が意欲を持って働ける環境を整え、長時間労働規制や非正規労働者の待遇改善の実効性を担保する働き方改革の法整備にむけた議論に大きな期待があったが、8本にも及ぶ法案を一括で取り扱い、長時間労働規制を唱える反面、労働時間規制が無くなりかねない高度プロフェッショナル制度導入が国民の共感も納得もない中で強行に採決された。この制度に関しては企業との力関係で言えば拒否できる労働者は無いに等しい。職種や年収基準は今後省令で定められるが対象者の拡大を認める訳にはいかない。労働組合の必要性和取り組みの重要性は増して来ており、労働組合が無い、相談する手段も解らないと言う方は、是非、連合福島の相談ダイヤルを活用して欲しい」と訴えた。



「クラシノソコアゲ応援団街頭行動」第23弾で、災害支援カンパを取り組みました

(裏に続く)

(表より続く)

【福島駅東口】「エスタビル前」近辺



東口で訴えた、左から連合福島 阿部薫副事務局長、同じく坂路芳知副会長、県労福協 佐久間通事務局長、連帯の挨拶をいただいた国民民主党福島県連代表 増子輝彦参議院議員、



左から連帯の挨拶をいただいた福島市議会社民党・護憲連合 羽田房男福島市議会議員、労福協の「奨学金と教育費負担」アンケートチラシを配布する増子輝彦参議院議員、女子高生にもアンケートの協力を呼びかけました。

【福島駅西口】「ザセレクトンホテル福島前」近辺



西口で訴えた連合福島の役員、左から加藤光一事務局長、遠藤徳雄副事務局長、山田慎一副会長



西口の街頭行動では、女子高校生もカンパの呼びかけに協力を頂きました